

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23102	ライフステージ栄養 Life stage nutrition	大津ゆみ子		専門	2	必修	1後期
<b>科目の概要</b>							
人のライフステージは、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期（妊娠期、更年期を含む）、高齢期に区分することができ、加齢に伴って身体状況や活動状況、生理機能などが変化し、各期の特徴がある。栄養士として人が成長・発達、健康の維持・増進、生活習慣病の予防、低栄養の予防のための生活の質的向上に貢献するために必要な知識を身につける。さらに、特殊環境下での栄養の配慮すべき点やストレスが生体に与える栄養について学修する。この授業では、食物栄養学科ディプロマ・ポリシー「客観的な証拠に基づいて科学的にものごとの判断ができること」「食生活の改善を通じて健康の保持増進および生活習慣病予防等に向けた提案ができ、人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できること」を重視し、pisa型学力の構築における必要な知識・情報等の資源を獲得する力の習得を目指す。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 各ライフステージの特性と栄養上の特徴について学ぶ。 ② 特殊環境下における栄養上の特徴について学ぶ。 ③ 食事摂取基準より、各ライフステージの栄養上の特徴を読み取る。 ④ 身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方について理解する。				① 各ライフステージの特性と栄養の特徴を説明できる。 ② 特殊環境下における栄養上の特徴を説明できる。 ③ 食事摂取基準を理解し、栄養管理に活用できる。 ④ 生涯にわたる人の身体的特徴を理解し、望ましい栄養状態や健康の維持のために、適切な栄養管理の方法を提示することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	次回の授業内容について、テキストの該当箇所を予習し、授業後は復習する。					
	働きかけ力						
	実行力	授業内容の理解度を高めるための小テストや本試験などの目標に向かって、ねばり強く学修することができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業内容の理解できなかったところや苦手な内容を克服するため、自ら考え解決策を考える。また、栄養士の仕事として、本科目の学修内容の活かし方を考える。					
	計画力						
	創造力	各ライフステージの特性と栄養上の特徴から、対象者の食生活の課題を見出し、栄養ケア・マネジメントができるようにする。栄養学、食品学、生理学、衛生学などの知識を複合的に考えることができる。					
チームで働く力	発信力	教員からの質問に対して回答する際、自分の意見をわかりやすく述べることができる。					
	傾聴力	授業内容のポイントをおさえ、必要に応じてメモを取り、内容の充実したノートを作成することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：「応用栄養学 第11版－ライフステージからみた人間栄養学－」森基子・玉川和子他著、医歯薬出版 3,190円 必要に応じて資料を配布する							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
・他科目との関連：「栄養学」、「栄養教育」、「公衆栄養学」、「食事療法論」 ・資格との関連：栄養士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
専門用語の意味を理解するための予習をしておくこと。覚えなければならない内容が多いが、根気よく学修すること。授業後は、テキストとプリントで復習すること。				授業内容を理解するための努力をし、分からないことは質問すること。 社会人基礎力の規律性を守ること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	各ライフステージ及び特殊環境下における身体的な特徴及び栄養ケアについて理解できているか。授業で獲得した知識を活用して説明ができるか。 ・筆記試験を行う。（テキスト・プリント等の持ち込みはなし）	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		30	①	✓	・毎回の授業内容が理解できたかどうか基本的事項について確認テストを行う。 ・栄養士実力認定試験に準じた内容とする。 ・授業後、各自で復習を行い、課題を解決するための知識を確実に獲得できるようにする。復習レポートは次回授業で提出する。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
		レポート		0	①		
					②		
③							
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
				③			
				④			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）シラバスを用いて予習と復習ができること。 （実行力）小テスト、本試験に向けて、自分が納得できるまで学習できること。 （課題発見力）対象者の身体的・栄養的な特徴を理解し、問題を見つげられること。 （創造力）対象者に、どのような栄養ケアが必要か提案できること。 （発信力）質問に対する回答や、自分の意見を聞き手に分かるように発することができること。 （傾聴力）講義を聴いて理解を深め、理解できない内容を質問することができること。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、円滑に授業が進行するようルールを守ること。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）は各ライフステージの特性と栄養上の特徴を正しく理解し、食事摂取基準を活用して栄養管理の方法を説明でき、さらに改善策を提示することができる。栄養士実力認定試験の問題を理解して解く力がついていること。</p> <p>A（優）は各ライフステージの特性と栄養上の特徴を正しく理解し、食事摂取基準を活用して栄養管理の方法を説明できる。栄養士実力認定試験の問題を理解して解く力がおおむねついていること。</p>	<p>B（良）は各ライフステージ別の特性と栄養上の特徴をおおむね理解できており、栄養管理の方法が説明できる。栄養士実力認定試験の問題の内容をおおむね理解できる。</p> <p>C（可）は各ライフステージ別の特性と栄養上の特徴をおおむね理解できている。栄養士実力認定試験の問題の内容を半分かくらい理解できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 栄養ケア・マネジメント1	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	栄養ケア・マネジメントの手順・方法について説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し。 <予習>次回の栄養アセスメントに用いられるパラメータについてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	栄養ケア・マネジメント(栄養アセスメント)	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	栄養アセスメントに用いられるパラメータを学ぶ。 身体計測の手法を学ぶ	<復習>到達度確認のための小テストの見直し。 <予習>次回の女性性の特徴と妊娠についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	妊娠期の栄養1 妊娠期における女性の生理	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	女性の身体的な特性理解して説明できる。 妊娠期に起こる身体の変化を理解する。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し。 <予習>次回の妊娠期の疾患・妊娠期の栄養管理についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	妊娠期の栄養2 妊娠期の疾患と栄養ケア 妊娠期における栄養管理	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	妊娠期の疾患と胎児への影響を説明できる。 妊娠期の食生活・日常生活の指導を考慮することができる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の授乳期の特性、母性と人工乳、母乳不足のケアについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	授乳期 授乳期の特性、母乳と人工乳、母乳不足のケア	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	授乳期の特性、乳汁分泌の機序、乳汁不足のケアなどの説明ができる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の乳児期の特性、離乳食の必要性和役割についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	乳児期 乳児期の特性、離乳食の必要性和役割	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	乳児期の特性、離乳食の意義について説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の幼児期の特性と栄養上の特徴についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	幼児期1 幼児期の特性と食習慣の形成	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	幼児の栄養上の特徴を説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の保育所給食についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	幼児期2 保育所給食の意義	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	保育所給食の意義が説明でき、給食の給与栄養目標量を考えることができる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の学童期の特性、思春期の特性、思春期の栄養障害についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学童期 学童期の特性、学校給食  思春期 思春期の特性、思春期の栄養障害	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	学童期・思春期の特性を理解し、学校給食の意義や思春期特有の栄養障害について説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の成人期の区分と各特性、成人期の健康の状況、栄養管理についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	成人期 成人期の区分と各特性、成人期の健康の状況、栄養管理	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	成人期の特性と健康を維持するための栄養管理について説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の更年期の特性についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	更年期 更年期の特性と栄養管理	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	更年期の特性と栄養管理について説明できる	<復習>到達度確認のための小テストに向けた復習 <予習>次回の高齢期の特性についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	高齢期1 高齢期の特性	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	高齢期の身体特性について理解し、栄養ケア・プログラム説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の高齢期の栄養管理、栄養障害についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	高齢期2 高齢期の栄養管理、栄養障害	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	高齢期の栄養管理について理解し、栄養障害とそのケアについて説明できる。	<復習>到達度確認のための小テストの見直し <予習>次回の高温・低温環境における栄養、ストレスと栄養の関係、健康づくりのための睡眠の意義についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	環境と栄養 (高温・低温環境下における栄養) ストレスと栄養、休養と睡眠	講義・小テスト 質疑応答にてフィードバックする。	特殊な環境が生体に及ぼす影響について説明できる 健康を維持するための休養や睡眠の重要性を説明できる	<復習>到達度確認のための小テストの見直し	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	各ライフステージのまとめ	1～14週まとめ。問題の回答と解説 質疑応答にてフィードバックする。	1～14週までの内容を復習する	<復習> 各回の小テストの内容を説明できるようにする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力